

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.18
平成25年12月16日

桜っ子は体力向上が課題だが・・・！

15日(日)の中日新聞に県教委が発表した「体力・運動能力、運動習慣等調査」(小5と中2)についての記事が掲載されていました。それによると、「愛知県の50m走など8種目の実技調査の平均点は、小中学校の男女とも全国平均を下回った」とありました。

全国1位は福井県で、小学5年は男女ともは全国1位(5回連続)、中学2年は全国2位の好成績でした。

福井県出身のスポーツ選手が小学生時代を振り返り、「福井っ子は、**昼休みの縄跳び、学校まで2キロの徒歩通学、祖父母との三世代同居**(規則正しい食生活や睡眠の習慣が身に付きやすい)」など、日常が体力づくりであることをその秘訣に挙げていました。

桜っ子の体力テストの結果は、残念ながら愛知県はもとより、海部地区49校の中でもよくありません。今後は、長期的な展望の下、業間での縄跳びや持久走などを取り入れ、体力づくりに力を入れていかねばと考えています。

昨年度までと違い、運動場が広く使えるようになったこともあり、大縄跳びやドッジボールを楽しむ児童が増えてきました。しかも、学年の枠を超え、異学年の児童が互いに仲良く、ほのぼのとした家族的な雰囲気の中で遊んでいる光景が見られるようになってきました。こうした光景を見るにつけ、桜っ子の温かさを感じ、心が癒やされる思いがします。

全校朝礼の話より(12/16)

二羽のハト

今日は、ある新聞に載っていたお話をします。それは、ある校長先生が子どものころ、幼稚園の園長先生から聞いたお話です。今から50年以上も前のことになります。園長先生が、畳の間に私たちを集めて話をしてくださいました。その校長先生は、いまだにそのお話を覚えているそうです。

今日は、皆さんにそのお話を聞いてもらいたいと思います。

「2羽のハトが猟師に捕らえられ、籠の中に入れられました。捕らえられた2羽のハトには、毎日たくさんのごちそうが出されました。1羽のハトは、うれしそうによく食べました。でも、もう1羽のハトは、どんなごちそうが出されても、一口も口にすることはありませんでした。

しだいに、1羽のハトは丸々と太り、もう1羽のハトはげっそりと痩せてしまいました。ある日、1羽のハトが痩せてしまったハトに尋ねました。

「どうして君は食べないんだい。こんなにごちそうがあるのに」

すると、痩せたハトはこう答えました。「ぼくは、もう一度あの空を飛んでみたいんだ」

それから幾日かたちました。みなさん、この痩せたハトは、どうなったと思いますか？

痩せ細ったハトはますます痩せてしまい、見る影もありません。ところが、次の瞬間、そのハトは、籠のすき間から体を滑らせ、大空へ飛びたって行ったのです。

「今、思い返すと、園長先生はとても大切なことを教えてくださったと感謝しています」と、その校長先生は、

自分の夢を実現するためには、時には苦しいことにも耐えなければなりません。ほしいものを手に入れるためには、我慢をしなければならないこともあります。

何かをやり遂げたいと思ったときには、大空に飛び立ったこのハトのことを思い出してみてください。